

<全体分析>

試験時間 60分

解答形式

選択, 記述

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

例年出題されている論述問題の出題がなかった。

その他トピックス

面心立方格子の正八面体すき間に関する問題が出された。

水の状態図から、低圧(三重点より低い圧力)での加えた熱量と温度変化のグラフを選択する問題が出された。

<大問分析>

| 番号 | 出題形式 | 出題分野・テーマ | 範囲 | コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど) | 難易度 |
|-------|----------|--------------------------|------------|---|-----|
| 〔I〕 | 選択 記述 | 金属元素 結晶格子 化学量論 | 化学基礎 化学 | 金属単体と化合物の性質, 面心立方格子 カリウムミョウバンの組成式の決定 | 標準 |
| 〔II〕 | 選択 記述 | 混合気体 物質の三態 希薄溶液の性質 | 化学 | 混合気体の定圧変化 分子間力, 水の状態変化, 沸点上昇 | 標準 |
| 〔III〕 | 選択 記述 | 脂肪族化合物 | 化学 | C ₄ H ₈ , C ₄ H ₁₀ O の反応 | 標準 |
| 〔IV〕 | 選択 記述 | 合成高分子 油脂 ペプチド | 化学 | PET, ナイロン 66 油脂を構成する脂肪酸の決定 ペプタペプチドのアミノ酸配列 問 2(III)③の「硫化鉛(II)」は「酢酸鉛(II)」の誤記と思われる。 | 標準 |

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

基本～標準的な問題が多いが、細かい知識や考察力を要する問題も出題される。論述・描図問題, 文字式を含む煩雑な計算問題も出題されることがある。対策としては、教科書の基本事項を確認し, 問題演習を通じて知識の定着を図ることが必要である。また, 難しい問題が出題されることもあるので応用力をつけておきたい。論述問題の対策として, 日頃から簡潔, 明瞭に文章を書く練習をしておくことが大切である。